

コラム 33ーロシア革命の序章

第一次世界大戦の引き金になったといわれるサラエボ事件について、前九州大学大学院客員教授・教育学教授若狭和朋氏の著書『日本人が知ってはならない歴史』によると、「3人の共産主義者が犯人であり、彼らのテロの目標は世界大戦の惹起であり、帝国主義戦争を内乱へ、内乱から革命へ（レーニン『国家と革命』）の実践にあった。3人のテロリストを背後で支援していたのは、セルビア陸軍の青年将校たちであり、彼らはロシアの革命派と気脈を通じ合わせていた。1917年のロシア革命の第1幕がサラエボ事件といえる。」と述べています。